

令和5年度 第6回清川村総合教育会議録

日 時 令和5年12月26日(火) 午前10時15分から10時55分まで
場 所 清川村役場本庁舎4階 住民センター集会室
出席委員 岩澤吉美村長、山田一夫教育長、今野郁夫職務代理者
橋本直人委員、山田比呂美委員、小室美和委員
事務局 小野参事兼指導主事、相原学校教育課長、中澤生涯学習課長
岩澤副課長、井上主幹、南波指導主事

議事日程

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題
 - (1) 前回会議録の確認
 - (2) 幼小中一貫校設置推進事業の進捗状況等について
 - (3) 宮ヶ瀬小学校の休校について
 - (4) 学校教育の運営状況について
 - (5) 生涯学習の実施状況について
 - (6) その他
- 4 次回の会議日程
- 5 閉会

開会（午前10時15分）

村長あいさつ

おはようございます。各小中学校12月22日（金）から冬季休業に入っています。園長や校長及び教職員の皆様が子ども達のため、健全な心身の発達のために、ご尽力頂いていきますことに感謝申し上げます。役場業務もあと3日となりましたが、まだコロナやインフルエンザも増えていると聞いています。村民の皆様が年末年始を迎えるにあたって、ご自愛いただきたいと思っております。

さて、今日の総合教育会議は6回目となりますが、23日の新聞に、2050年には人口が3割減という記事がありました。清川村でも2020年3,038人が2050年には1,929人になってしまう状況だそうです。これは村だけでなく、神奈川県も同様で、都市部でも人口が減ってくると想定されています。現在、少子化が進んでいる各自治体でも、様々な人口対策を行っていると思いますが厳しい状況にあります。このような状況でも、村民の皆さんが、この村に住んでいてよかった、住み続けたい、そのような思いを持っていただける村づくりを目指していかないといけないと考えています。

そのために、次代を担う子どもたちをしっかりと守っていく必要があり、それには、皆様のお力添えが必要となってまいります。今年最後の会議となります。どうぞよろしくお願いいたします。

教育長あいさつ

本日案件には、幼小中一貫校設置推進事業の進捗状況等についてと宮ヶ瀬小学校の休校について等ありますが、今年を振り返ってみますと、各学校様々な研究に取り組んできました。

特に先日、県の教育センターにて幼小の懸け橋という事で、小学校の先生と幼稚園の先生が互いに交流を行い、小学校の先生が幼稚園に、幼稚園の先生が小学校へ行って教えたという発表がありました。一貫校を見据える中で、丁寧に進めてもらっていると感じました。

また、緑小ではインクルーシブ教育を進めていまして、教育委員会会議で話をしましたが、共生社会の実現を目指すという事を掲げ、障害の有無にかかわらず同じ教室で色々なことを実践して県で発表するそうです。

一方、緑中では人権教育の研究を行い県で発表しました。今年は、研究発表が多く、清川村の先生方が活躍して大変ありがたいことと感じました。このような研究を進めながら、今後の教育内容も考えていけたら素晴らしいと思いました。本日はよろしくお願いいたします。

議題（１）前回会議録の確認

◎事務局から「資料１」により説明を行い、前回会議録（R5.11.28）の確認をしました。

※ 修正等があれば、1月11日までに事務局に連絡。

議題（２）幼小中一貫校設置推進事業の進捗状況等について

事務局 先ほどの教育委員会会議で、基本構想について議決されましたので、資料の（案）を消して下さい。

※ 総合教育会議でも内容の確認と情報の共有を図った。

議題（３）宮ヶ瀬小学校の休校について

事務局 10月の教育委員会会議で方針決定し、保護者や地域の方々にも周知を行ったので、宮ヶ瀬小学校の休校については、先ほどの教育委員会会議にて正式に議決いただきました。今後、県教育委員会などへ手続きに入ります。

※ 総合教育会議でも内容の確認と情報の共有を図った。

議題（４）学校教育の運営状況について

事務局 困難を抱える児童、生徒への支援について

神奈川県では、子どもたちが抱えている困難や課題をいち早くキャッチし、すべての子どもたちが安心した生活が送れるように相談支援体制をより充実させていきます。日頃明るく、元気に過ごしている児童や生徒でも、誰にも相談できず一人で悩んでいる場合があります。全ての子どもの困難を確実にキャッチして、適切な支援につなげる学校づくりを進めていきます。

具体的には、支援する仕組みづくりを神奈川県が作り、全県の学校で取り組んでもらう流れです。これは、全国に先駆け「かながわこどもサポートドック」と名付けたシステムになっています。内容は、困難を確実にキャッチするため、アンケート等を活用して、全ての子どもが自己チェックをして、担任や学年職員等による気づきをスクリーニングシートにまとめ、SCやSSWの回答を基にスクリーニング、校内チーム会議の実施、その後、支援方策を検討して医療や福祉等の校外の支援につないでいきます。村でも、4月から実施を検討しています。既に、アンケート等タブレットを活用し、取り組んでいます。より多くの視点でみていこうと考えています。

議長 社会的にも若い世代のオーバードーズが深刻な悩みとなっているので、子ども達が悩みなど発信できる機会を作ってあげることが大事だと思っています。一人で悩まず、このようなサポートがある事を広く知ってもらうのは良いと思います。

議題（５）生涯学習の実施状況について

事務局 ・読書感想文について、応募 142 名、本審査に 30 点、18 作品入選
パソコン入力したものをせせらぎ館に展示 1 月 11 日から 22 日まで

- ・12 月 16 日 親子ふれあいしめ縄づくり、13 組の参加青少年指導員が講師を務めてくれた。
- ・12 月 24 日 歴史講座「川瀬サト」の生涯、26 名の参加
- ・1 月 8 日 清川村はたちのつどいについて説明。
- ・1 月 28 日 音楽鑑賞会「神奈川フィルハーモニー管弦楽団」

委員 対象の子どもがいなくても、しめ縄づくりに参加したいとの声があります。今後、枠を広げるなど配慮してほしい。

事務局 「親子ふれあいしめ縄づくり」は、親子のふれあいが目的で、そ親子参加の形になっていますが、大人の参加だけでも含めて、事業を行っている青少年指導員会議の議題に挙げて検討します。

議題（6）その他

委員 先日行った、体操のお兄さんの講演会は小中学校だけに案内をしたのですか。

事務局 主催は村のPTAです。村に在住在勤の方を対象としていました。

委員 内容が大変良かったので、もっと多くの人、特に若い保護者に参加して頂ければ良かったと思います。

次回の会議日程

◎1月の教育委員会議で決定。令和6年2月に開催。

閉会